

論文審査の要旨

報告番号	㊦・乙 第 3034 号	氏名	玉井 哲郎
論文審査担当者	主査 渡井 有 教授 副査 小風 暁 教授 副査 大嶽 浩司 教授		
<p>(論文審査の要旨)</p> <p>医療におけるインシデントやアクシデントを収集する報告システムは医療の安全管理を向上させるうえで重要である。しかし、小児医療の領域に限定された検討は非常に少ない。本論文の目的は当院の小児医療に関連するアクシデントを分析し、その特徴や問題点を抽出することである。</p> <p>対象は昭和大学病院の医療安全管理部門が管理する過去 11 年間の小児医療に関連するインシデントレポートのうち、患者への影響レベルが 3b (濃厚な処置や治療を要した) 以上であったアクシデント 17 事例である。それらを状況報告書をもとに分類して分析している。</p> <p>内容は患者の男女比、年齢の範囲、基礎疾患の有無、入院中の事例であったか、発生部署、内容・背景について、集計されていた。</p> <p>昭和大学病院のアクシデント事例の約 80%は医療行為の質向上や医療体制の改善に向けて介入可能であった。しかし、予測が困難であった事例が約 10%あり、小児医療の安全管理上、リスク軽減に限界があることも判明した。</p> <p>以上の論文内容は、小児医療における医療安全を向上させる上で有用であり、学位論文に値すると判断した。</p> <p>論文名：昭和大学病院の小児医療におけるアクシデントの特徴と問題点</p> <p>掲載雑誌名：昭和学会雑誌 第 79 巻 第 2 号 2019 年 掲載予定</p>			

(主査が記載、500 字以内)